



日本共産党文京区議会議員
まんだち幹夫 通信
 2010年1月29日号 No.131

'みなさんをいつもまんやかに、

区議団控室：5803-1317 (直通)
 萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7
 ・fax 3868-8355
 メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》

雪の湯之谷やまびこ荘へ 総務区民委員会で視察

これからも区民の憩える施設、山村・農業体験の場としての「やまびこ荘」のあり方は？

25・26日と、区議会総務区民委員会として、雪の湯之谷やまびこ荘と魚沼市に視察に行ってきました。

やまびこ荘は27年前に湯之谷村(当時)から土地の無償貸与を受け、山村体験宿泊施設として開設されました。利用したみなさんも多いと思いますが、文字通り、大自然のなかの、安いつまい 宿泊施設です。ところが昨年末、今後のあり方についての中間まとめが議会にも報告されました。結論的には、「区民利用の伸び悩み、運営維持管理費の負担増、施設の老朽化を抱え、区の歳出が毎年500万円を超過」のため「民営化の可能性について魚沼市と検討すること」です。今回は、また「J」の今後のあり方に関する視察でした。



玄関前の雪の山(上)、明るい施設内(下) = 25日



緊急一時保護、就労自立支援センターが開設

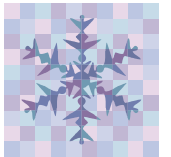
25日午前、後楽1丁目の小石川グランド脇に建てられた「路上生活者自立支援センター『文京寮』」の内覧会に出席しました。これは、路上生活者の心身の健康回復など目的とする緊急一時保護センターと、就労自立を支援するセンターの機能を併せ持つ新型の施設として、23区内5か所のうちのひとつです。

これまで荒川区にあった同施設よりも1部屋の使用人数が5,6人と少なく、またハローワークに近いという条件的にも改善したのでしょうか。路上生活者を生まない社会をつくることと合わせて、大事なことです。



裏面の「新春のつどい」のご案内をご覧ください。

施設は築27年ですが、館内は手入れが行き届いています。昨秋、厨房のダクトやボイラーの改修をしましたが、冷房機器(写真「チラー」)、屋根の塗装などがすぐ必要になりそうです。体験交流はやまびこ荘を管理運営する地元「フー」組合の尽力で、企画も多彩で応募も多くなつて努力のあとがつかえます。運営形態は検討しながら、区民が憩える施設として、またこの間培ってきた事業の拡充のための方策を考えたいものです。



まんだち日記

22日 午前、視察のための総務区民委員会。午後、来年度予算の説明を受けました。夜、民主商工会の新年会に。残念ながら遅れてしまい、琵琶演奏が聞けなく残念でした。

23日 小池あきら参院議員のポスター貼り替え。町が変わり、なかなか貼れなくなりましたが、なんとか目立つ所に！ 午後、養生会西片向丘支部の新年のつどいへ。

24日 東京保健生協の千川支部の新年会。歌に踊りに... 芸達者なみなさんがお元氣です。

夜、少年野球の新年会。とにかくパワーがあります。かつて自分も一年間だけ子どもがお世話になったのですが、関係者の熱意に圧倒されました。